



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月14日

上場会社名 沢井製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4555 URL <https://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営管理部長 (氏名) 末吉 一彦

TEL 06-6105-5823

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	33,646	2.1	5,376	8.7	6,109	3.3	4,656	6.9
29年3月期第1四半期	32,948	12.1	5,891	7.3	5,914	5.6	4,357	14.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 4,839百万円 (15.0%) 29年3月期第1四半期 4,206百万円 (18.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	126.31	126.23
29年3月期第1四半期	118.19	118.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	354,923	140,076	39.4
29年3月期	221,538	137,600	62.0

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 139,699百万円 29年3月期 137,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		65.00		65.00	130.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		65.00		65.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	142,000		24,200		23,800		18,200		493.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は平成30年3月期通期連結会計期間より、日本基準に替えて国際財務報告基準(IFRS)を任意適用いたします。このため、平成30年3月期の連結業績予想はIFRSに準拠した数値を表示しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規2社(社名)Sawai America Inc.、Upsher-Smith Laboratories, LLC
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	38,167,988 株	29年3月期	38,167,988 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	1,299,572 株	29年3月期	1,299,572 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	36,868,416 株	29年3月期1Q	36,867,049 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成29年8月14日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会(電話会議)を開催する予定です。その模様及び説明内容については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成29年4月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、政府・日銀による各種政策効果もあり、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方、個人消費の伸び悩み、米国新政権の政策変更リスク、地政学的リスクの高まり等により、先行きへの不透明感が高まりました。

ジェネリック医薬品業界におきましては、平成27年6月末に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2015（骨太の方針2015）」において、ジェネリック医薬品の数量シェア目標として、「平成29年央に70%以上とするとともに平成30年度から32年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする。2017年央において、その時点の進捗評価を踏まえて、80%以上の目標の達成時期を具体的に決定する」ことが掲げられました。これを受け、平成28年4月の診療報酬改定において、保険薬局における「後発医薬品調剤体制加算」とDPC制度（DPC/PDPS）における「後発医薬品指数」や医療機関における「後発医薬品使用体制加算」の指標見直しに加え、院内処方を行う診療所における「後発医薬品使用体制」に関する評価の新設、一般名処方の一層の推進等のジェネリック使用促進策が実施されたことから、平成28年度の上半期においては、薬局市場のみならず、病院市場や診療所市場においてもジェネリック医薬品の需要は順調に伸長しました。

しかしながら、平成28年度の下半期、特に第4四半期以降、ジェネリック使用促進策の効果が一段落するとともに、医療現場での重複投薬や多剤投与の適正化の影響もあり、ジェネリック医薬品の需要の伸びには鈍化が見られ、政府推計では平成29年6月のジェネリック医薬品の数量シェアは65.1%となっており、政府目標（70%以上）は未達となる見込みです。さらに、これらに加え、既存大型品目での他社との競争激化、大型品目を中心とした次々ぐAG（オーソライズドジェネリック）の登場、競争環境の激化等が相まって、当第1四半期の収益環境は一段と厳しいものとなりました。

このような環境におきましても、当社グループは、「なによりも患者さんのために」の企業理念のもと、平成28年8月に修正・発表しました中期経営計画「M1 TRUST 2018（以下、中計）」に掲げた各施策の実現に取り組んでまいりました。

生産・供給体制面においては、平成28年に竣工した三田西工場を含めた全国7つの工場それぞれの特徴を活かした生産効率のアップと生産能力の拡大が可能となり、安定供給体制を一層強化しております。

製品開発・販売面においては、6月に、『テルミサルタン錠・OD錠』を含む10成分27品目の新製品を発売しました。

一方、海外事業においては、米国市場向け製品の研究開発に注力しており、米国市場向け3品目となる多発性硬化症治療剤フマル酸ジメチルカプセルを米国食品医薬品局（FDA）に申請し、6月に受理されました。さらに、当社自身による米国市場の開拓に加え、海外事業の成長戦略を加速するため、4月には米国でジェネリック事業を営む Upsher-Smith Laboratories, Inc. の買収契約に合意し、5月末に買収手続きを完了、同社を Upsher-Smith Laboratories, LLC（以下「USL」という）として子会社化しました。USLは約100年の歴史をもち、米国のジェネリック市場で確固たるポジションを保持しており、研究開発から、生産、マーケティング、本社管理体制まで安定した経営基盤を備えております。当社にとってはUSLが保有する人財、工場、ノウハウを活用することでシナジー効果が期待できることから、当社グループの一員として迎え入れました。これによって、当社グループは日本のみならず、米国の患者さんにも高品質・高付加価値なジェネリック医薬品を提供し、将来的には日米事業を両輪とするビジネスをさらに大きなスケールで展開し、世界に認知されるジェネリック医薬品企業への成長を目指してまいります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は33,646百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益が5,376百万円（前年同期比8.7%減）、経常利益が6,109百万円（前年同期比3.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益が4,656百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は163,492百万円となり、前連結会計年度末に比べ26,145百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が9,802百万円、受取手形及び売掛金が9,123百万円増加したこと及びたな卸資産が5,992百万円増加したことによるものであります。固定資産は191,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ107,238百万円増加いたしました。これは主に、のれんが96,362百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は354,923百万円となり、前連結会計年度末に比べ133,384百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は186,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ131,312百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が112,775百万円、未払費用によるその他流動負債が10,237百万円増加したことによるものであります。固定負債は28,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ403百万円減少いたしました。これは主に、425百万円の長期借入金の流動負債への振替によるものであります。

この結果、負債合計は、214,847百万円となり、前連結会計年度末に比べ130,908百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は140,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,476百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4,656百万円、剰余金の配当2,396百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は39.4%（前連結会計年度末は62.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性を向上させることを目的として、平成29年度の通期業績から、国際財務報告基準（IFRS）を適用することとしております。同基準に基づいた平成29年度の通期業績は、平成29年5月15日に公表した通り、売上収益142,000百万円、営業利益24,200百万円、税引前利益23,800百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益18,200百万円を見込んでおります。

ただし、この見通しには、6月1日に発表しましたUSLの買収にかかわる諸費用は含まれていますが、USLの売上と収益の連結影響は一切含んでおりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,771	40,573
受取手形及び売掛金	36,806	45,929
電子記録債権	4,540	4,466
商品及び製品	31,940	36,510
仕掛品	14,260	13,744
原材料及び貯蔵品	15,576	17,515
繰延税金資産	3,049	2,978
その他	417	1,802
貸倒引当金	△16	△29
流動資産合計	137,346	163,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,396	36,737
機械装置及び運搬具(純額)	27,567	28,383
土地	9,255	10,760
リース資産(純額)	1,271	1,245
建設仮勘定	2,989	4,396
その他(純額)	3,605	4,254
有形固定資産合計	77,084	85,778
無形固定資産		
のれん	—	96,362
その他	1,444	2,697
無形固定資産合計	1,444	99,059
投資その他の資産		
投資有価証券	5,070	5,332
長期前払費用	260	653
その他	353	629
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	5,662	6,593
固定資産合計	84,192	191,431
資産合計	221,538	354,923

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,290	16,619
電子記録債務	5,191	4,445
短期借入金	1,600	114,375
リース債務	277	295
未払金	17,069	19,018
未払法人税等	1,560	1,532
賞与引当金	2,033	3,771
役員賞与引当金	36	18
返品調整引当金	48	42
売上割戻引当金	2,220	8,284
その他	7,546	17,783
流動負債合計	54,875	186,188
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	5,263	4,838
リース債務	807	740
繰延税金負債	327	391
退職給付に係る負債	30	31
長期預り金	2,177	2,200
その他	455	455
固定負債合計	29,063	28,659
負債合計	83,938	214,847
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,170	27,170
資本剰余金	27,803	27,803
利益剰余金	87,094	89,355
自己株式	△6,006	△6,006
株主資本合計	136,062	138,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,194	1,377
その他の包括利益累計額合計	1,194	1,377
新株予約権	342	376
純資産合計	137,600	140,076
負債純資産合計	221,538	354,923

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	32,948	33,646
売上原価	19,320	19,884
売上総利益	13,628	13,762
販売費及び一般管理費	7,737	8,385
営業利益	5,891	5,376
営業外収益		
受取配当金	53	53
為替差益	—	837
その他	80	30
営業外収益合計	133	921
営業外費用		
支払利息	60	144
売上債権売却損	13	15
減価償却費	24	23
その他	11	5
営業外費用合計	110	188
経常利益	5,914	6,109
特別損失		
固定資産除却損	64	23
特別損失合計	64	23
税金等調整前四半期純利益	5,849	6,086
法人税、住民税及び事業税	841	1,374
法人税等調整額	651	55
法人税等合計	1,492	1,429
四半期純利益	4,357	4,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,357	4,656

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	4,357	4,656
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△150	182
その他の包括利益合計	△150	182
四半期包括利益	4,206	4,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,206	4,839

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。